



Title	北海道大学附属図書館報「榆蔭」
Citation	, 116, 1-27
Issue Date	2003-07-31
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/66362
Type	periodical
File Information	yuin116.pdf



[Instructions for use](#)



拾 蔭

Yuin

北海道大学附属図書館報

目 次

図書館という脳

附属図書館副館長・北分館長
大平 具彦……………1

お知らせ

- ・附属図書館の現状と課題……………5
- ・来館日誌……………6
- ・映像資料検索……………7
- ・SciFinder Scholar 説明会開催される……………8
- ・平成14年度「情報探索入門」を終えて……………9
- ・平成14年度「情報探索入門」アンケート結果……………10
- ・平成14年度図書館情報活用セミナー・
講習会等実施報告……………11

資料紹介

- The Works of Geoffrey Chaucer の寄贈……………12
- 豪華複製版「The Works of Geoffrey Chaucer」の寄贈について……………14
- 平成14年度特別図書購入費で購入した資料……………15
- 新聞マイクロフィルムの購入……………17
- 新聞データベース……………18
- 教官著作寄贈図書……………19
- 図書館統計（平成14年度）……………20
- 貸出頻度順リスト……………22
- 会議……………24
- 各種委員会委員……………25
- 人事往来……………26
- 附属図書館本館・北分館・部局図書室の開館（室）時間……………28

図書館という脳

——副館長・北分館長に就任して

附属図書館副館長・北分館長 大平 具彦



有名なアメリカの宇宙天文学者のカール・セーガンによると、図書館とは、「人間が身体の外につくりだした脳」なのだそうだ。彼は著書『COSMOS』（朝日新聞社、朝日文庫、1984年）の中でこう語る。

私たちの遺伝子が、生き残るために必要な情報のすべてを貯えることができなくなった

とき、私たちは、ゆっくりと脳を発明した。そのあと、おそらく1万年くらい前のことだろうか、私たちの脳のなかにたまたま納まっているものよりも、もっと多くのことを私たちは知らなければならなくなった。そういう時期がきたのである。

それで私たちは、ものすごい量の情報を、遺伝子でも脳でもないところに貯えることを

学んだ。このように、からだの外に、社会的な「記憶」を貯える方法を発明したのは、この地球上では私の知る限り人間だけである。そのような「記憶」の倉庫は、図書館と呼ばれている。

つまり、図書館は人類（ホモ・サピエンス）がつくりだした「社会的な脳」なのである。社会的な脳であるからして、そこに貯えられた巨大な記憶装置を独自に編集して、まさしく人類の歴史を書き換えてゆくような新しい知見がそこから生まれてゆく。その最も良い例のひとつとして、たとえば、ロンドンに亡命していたマルクスが大英博物館の図書館で書き上げた『資本論』の例が挙げられるだろう。当時、大英博物館の図書館には新たに円形の大閲覧室が設けられ、364もの研究者用閲覧席と2万冊の参考図書コレクションを配備して、研究環境の良さと資料利用の便利さが評判であったという。勃興期の資本主義経済に関する文献データを豊富に蔵したその「社会的な脳」がなかったら、果たしてマルクスの『資本論』は生まれていただろうか。そして『資本論』が書かれていなかったら、20世紀の歴史を決定づけたあのロシア革命は起こり得たのだろうか。だとするならば、ナチズムや第二次世界大戦は……？ いずれにせよ、現代世界の歴史は、人間が実際に経験してきたものとは根本的に様相が異なっていたに違いない。

図書館史をひもとくと、人類最古の図書館は、古代オリエントで、紀元前3000年頃につくられたようである。それは「文書」あるいは「書」なるものを保存・保管した場所であって、「書」すなわち「書く」という表現に端的に示されているように、図書館の歴史は、文字の発達と分かちがたく結びついている。人類は文字をつくりだし、それを用いて社会的記憶を身体の外部に脳化し始めたわけである。では、文字が書と

して流通するようになるまで、社会的記憶はどう保存されていたか。それは、言い伝えや口承のかたちで、集団的記憶あるいは神話として、語り部や神官と称される人間の脳の中に、まさしく記憶として貯蔵されていたのである。それは遠い太古の時代から、そして非文字社会ではしばらく前まで続いていた。近い例で言えば、スペインに滅ぼされたアステカ帝国（今のメキシコ）には絵文字しかなく、われわれが通常考える文字はなかったのだが、スペイン人は、自らの社会の成り立ち由来をはるか彼方の時代から、淀みなく次から次へととうとうと語るアステカの賢者らの雄弁術に、驚嘆の念を覚えずにはいられなかったという。社会的な記憶は、口承や暗誦、すなわち声というメディアによって、優れた者の脳へのインプットとそこからのアウトプットを通して、世代から世代へと保存され伝承されていたのだった。

今、メディアという語を用いたが、メディアを（メッセージの）「媒体」という本来の意味で考えるならば、声や文字（つまりは言葉）こそが、人間にとって最も根幹的なメディアであることは容易に確認できよう。そればかりではない。言葉というメディアこそがヒトを人間へと進化させたことから端的に示されているように、メッセージ（情報）の授受を可能にする「^{メディア}媒体」がなければそもそも人間という存在はあり得ないことを考えるならば、人間があつてメディアを道具として使用するというよりも、メディアの働きの中でこそ人間という存在はつくられてゆく、ととらえた方がより実相に近いだろう。そして、図書館の成立とも密接にからむ声から文字へのメディアの移り変わりは、人間の思考と歴史に決定的な作用を及ぼした。

先の例を取り上げるならば、わずか数百人のスペイン人が数万の軍勢を誇るアステカに勝利し得たのは、ダイヤモンドも『銃・病原菌・鉄』（草思社、2000年）の中で記しているが、スベ

イン側が文字を持っていたことが決定的な要因であったと思われる。ヨーロッパ・スペインは、文字を通して、活字印刷で書かれた書物を通して、声のメディアでは遠く及ばない軍事技術、地理的知識、相手に関する情報を大量に持っている、それが最終的には勝敗を左右したのだった。16世紀初めに起きたスペインによるこのアステカ征服は、文字というメディアが声というメディアを圧倒し去った歴史として記憶されるべきだろう。これがコロンブスのアメリカ発見を受け継いで、後のヨーロッパによる世界の植民地化の始まりを告げる点になった点を思えば、メディアというものが人間に対して持つ重大さに厳粛な気持ちにならずにはいられない。

こうして当時のヨーロッパに膨大な知識が貯えられるようになっていった背景には、近代的な形を取りつつあった図書館というメディアが大きく寄与していた。つまりヨーロッパは他の地域に先駆けて、社会的な脳を、大規模に明確な意識をもって構築していったわけである。近代以降の世界をヨーロッパが支配し得た力の源泉のひとつは、おそらくはここに存しているのではなかろうか。それを決定的にしたのが、言うまでもなく、1450年頃にゲーテンベルクによって発明された活版印刷メディアである。その技術による初めての印刷本（『ゲーテンベルク聖書』）が世に出てからわずか50年間で、印刷された書物は一挙に3～4万点に達し、16世紀にはこれがさらに15～20万点へと激増して、その後この増大傾向は一層拍車がかかってゆく。さらに重要なことに、一方で印刷メディアは、それが流通する上での共通語すなわち国語と、その言語を共有する意識すなわち国民意識を形成していった（アンダーソン『想像の共同体』、1987年、リブレポート）。こうした流れの中で、国内で出版された書籍は全て所蔵するという思想に基づく近代国家の国立図書館（フランス国立図書館、イギリス大英博物館図書館、

アメリカ議会図書館等々）が生まれていったわけである。図書館という社会的な脳は、近代に至ってこうして巨大な殿堂へとハードディスク化されたのだった。それは、言うなれば、印刷メディアが作り上げた国家的、国民的なスーパー脳であり、個人の脳はそこに接続することで途轍もない容量アップが可能となったのである。19世紀から20世紀にかけてのイギリス、フランスの国力（文化力・科学力）、そして20世紀に入ってからのアメリカの国力（文化力・科学力）は、こうしたスーパー脳と結びついていたと言っても、決して過言ではないだろう。そしてまたこのことはとりも直さず、ある国、ある大学、ある自治体の知力とは、そこがどのような図書館を有しているかという点と不可分であるということをも物語っていよう。

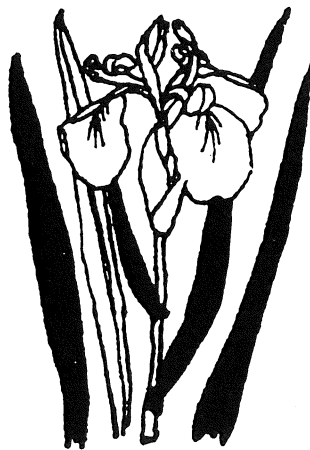
そして今、われわれは、活字印刷メディアから電子メディアへの移行というこれまた途方もなく大きな文明史上の革命の時代を生きている。今や地球の表面はくまなくと言っていいほどネットワークで覆われ、これまでは図書館という器に局所化されていた社会的な脳は、スーパー脳すらもやすやすと越えて、地球規模でネットワーク図書館化してゆくハイパー脳へと凄いスピードで進化しつつある。そこでは図書館という機能はどう変容してゆくだろうか。また人間の個々の脳は、そのハイパー脳とどう結びついてゆくのだろうか。図書館機能という点では、何をどれだけ所蔵しているかということよりも、しかるべきサイトにどう繋がってゆくかという接続機能がより重要な意味を持つてくるだろう。また情報データをどう貯蔵するかということよりも、情報をどう使うかを利用者に提供できる情報政策面がますます重要視されるようになるだろう。その一方で、これまでの人間の思考と文化を導いてきた活字メディアは、電子メディアと共存しつつ繋がってゆく上で、しっかりと維持展開されてゆかねばなるまい

(アメリカの公共図書館は電子化を進めながら印刷体の収集にも多大な力を注いでいるという)。

そして個々の脳が開くためには、それ自体がいい土壌となっていなければならないのは勿論であるとしても、これまでのようにそれだけで充分というわけにはゆかず、それがハイパー脳とどう豊かに繋がってゆくかがおそらく鍵になるのではないだろうか。アメリカの人類学者クリフォードは「アイデンティティーとは、本質的なものではなく接続的なものだ」と書いている (Clifford : *The Predicament of Culture*, 邦訳『文化の窮状』、人文書院、2003年)。クリフォードのこの言葉は、今日の多元文化状況における個人のアイデンティティー、さらには個々の文化のアイデンティティーについて述べたものであるけれども、それは、このハイパーネットワーク時代の個々人のありようについても妥当するはずである。自身が持っているものだけに自足したり閉じこもるのではなく、「接続し」、「繋がる」こと——、21世紀のキー・ポイントはここに存しているように思われる。

最後に——。確かイタリアの作家モラヴィアの小説の中だったと思う。主人公がある大きな

図書館に入ってその蔵書に圧倒され、これぞ人間の知の殿堂であるという思いに浸るのだが、しかしそのすぐ後で、実はその巨大な知の集積の向こうに、人間が言葉にしなかったこと、あるいは言葉にされなかったことが無限に広がっていることにおもてが行くと、さらに一層深い感慨に浸るという場面があった。学生時代にその場面を読んで、なぜか妙に感動した覚えがある。ここでこうした話を持ち出すのは、何も図書館に蔵されているものが人間の巨大な営みの中のほんの一部なのではないがためではない。そうではなく、ひとつには、図書館という社会的な脳は、宇宙の無限の闇の中に浮かぶ生命と知の惑星の地球にも似て、ヒトが人間となってこれまで生きてきた不定形な無限の広がりの中の一種の奇跡にも近い出来事のように思われるからであり、また一方では、とは言え、スーパー脳あるいはハイパー脳へと進化しても、われわれが貯蔵している知のまわりには、依然として、われわれには知り得ないことが膨大な海のように広がっているという厳粛な事実に対して、あくまでも謙虚でいたいと思うからである。冒頭のカール・セーガンの言葉も、そうしたことを含意しているのではないだろうか。



お知らせ

附属図書館の現状と課題

—平成14年度の自己点検・評価の結果が報告される—

平成14年度の自己点検・評価の結果が、「附属図書館の現状と課題」として刊行されました。図書館業務全般について、附属図書館単独の点検・評価としては初めての報告書です。

内容は、I 本編 1. 北海道大学附属図書館の理念・目的 2. 利用者サービス 3. 情報資源の収集・組織化 4. 情報資源の管理・運用 5. 電子図書館機能 6. 施設・設備 7. 研究開発機能 8. 管理運営 9. 予算 10. 広報 11. 北海道大学附属図書館システム

II 資料編 A. 附属図書館の中期目標・中期計画・年度計画 B 大学図書館評価指標データ集 C. 平成14年度大学図書館実態調査 D. 部局図書室調査集計結果
となっております。

ここで点検・評価に関する経緯を振り返ってみます。

平成6年1月北海道大学附属図書館将来像検討委員会から「北海道大学附属図書館将来像検討委員会最終報告」が出されました。この報告書は図書館が将来持つべき機能全般にわたり全学の図書系職員による検討結果をまとめたものです。平成10年3月北海道大学附属図書館新営検討小委員会から「附属図書館新営構想に関する報告書」が出されました。この報告書では、21世紀をひらく大学図書館の機能についての検討結果が述べられています。さらに、平成11年3月には北海道大学図書館委員会資料整備検討小委員会から「図書館資料整備

の在り方について」が報告されました。ここでは北海道大学附属図書館のさらなる発展をめざして、資料整備の体制、方策、本館、分館、部局図書室等の機能分担等が示されました。

その後、平成14年に入り、図書館委員会の下に「附属図書館本館増築・改修検討小委員会」、「学術研究コンテンツの整備に関する検討小委員会」「自己点検評価小委員会」の3小委員会が設置され活発な検討が開始されました。

自己点検評価小委員会から提出された本報告書は、これらの活動をふまえ、今後の国立大学法人化を視野に取りまとめたものであります。また、本報告書は今後実施予定の外部評価の基礎資料としても位置づけております。

(情報管理課)

附属図書館の現状と課題

—自己点検・評価報告書—

平成15年3月

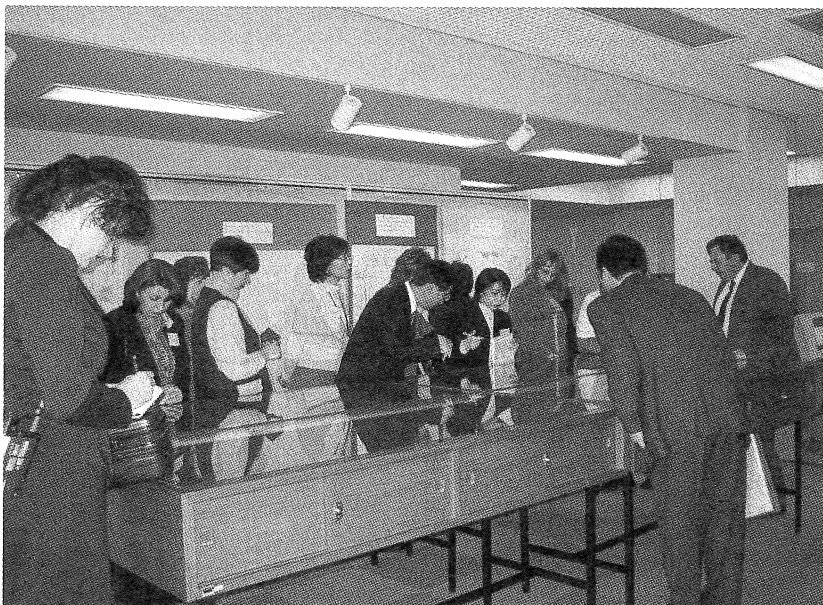
北海道大学附属図書館

来 館 日 誌

ロシア極東地域図書館員グループの来館

平成15年3月12日(水)

サハリン国立総合大学東洋学附属図書館のイ・スインヒ館長をはじめ、ロシア極東地域の図書館員13名が本館を訪れ、北方資料室スラブ研究センター見学の後、北大の図書館業務システム等についての研修と情報交換を行なった。



写真は北方資料室で山口図書館専門員から説明を受ける一行

北海道内公共図書館職員の来館

平成15年5月20日(火)

石狩市民図書館の清水千晴図書館員をはじめ、道内図書館職員25名が大学図書館業務の理解を深める研修の一環として本館を訪れ、館内見学のあと、図書館ホームページ紹介、オンラインサービス紹介、相互利用に関する懇談を行なった。

映像資料検索 - 映像資料専用 OPAC ができました

附属図書館に所蔵のある映像資料がいろいろな角度から検索できるようになりました。タイトルや監督名などに加えて、ジャンル・地域や時代・その他適当なキーワードによる検索が可能です。附属図書館ホームページの「映像資料検索」からご利用ください。

◎主なジャンル

- 【教材】 人文科学系教材・社会科学系教材・芸術系教材・理学系教材
 ・工学系教材・生命科学系教材・語学教材・ドキュメンタリー
- 【劇映画資料】 歴史・社会・伝記・青春・家族・恋愛・人生・サスペンス
 ・ミュージカル・エンタテインメント・ヒューマン・文学作品

なお、附属図書館北分館では平成13～14年度教育研究基盤校費（人文・社会科学教育及び留学生教育支援のためのマルチメディア環境整備費）により、映画を含む視聴覚教材が大変充実しています。映像資料検索で興味のある資料が見つかりましたら、是非一度足をお運びください。

URL → http://www.lib.hokudai.ac.jp/av_search/avdb.html

映像資料検索

附属図書館所蔵の映像資料を検索することができます。
 劇映画資料については、タイトルの中に入らない言葉でも探すことができます。(下記(注)参照)

ジャンル 検索語

所在場所が「分館・開架・視聴覚」となっている資料は北分館のマルチメディア公開利用室で視聴することができます。
 検索語の入力方法

劇映画資料リスト	
前行	あゝ恋をせよ
前行	あゝ恋をせよ
前行	あゝ恋をせよ
前行	あゝ恋をせよ
前行	あゝ恋をせよ
前行	あゝ恋をせよ

注)劇映画資料に付与している検索語項目
 (1)描かれている(舞台となっている)地域
 (2)描かれている時代
 (3)描かれている事件名、戦争・戦役名
 (4)描かれている人物名
 (5)製作国
 (6)製作者、監督、演出者、原作者、原案者等の氏名、ヨミ
 (7)出演者(1～2名)
 (8)作品の内容に妥当な語句

北分館マルチメディア公開利用室風景

劇映画関連リンク
[東京国立近代美術館フィルムセンター](#)
[キネマ旬報映画データベース](#)
[全洋画ONLINE](#)
[Modern History in the Movies\(フォーダム大学\)](#)
[Medieval History in the Movies\(フォーダム大学\)](#)
[Ancient History in the Movies\(フォーダム大学\)](#)

北海道大学附属図書館

SciFinder Scholar 説明会開催される

平成15年3月より提供を開始したCA on CDに替わる化学系データベース「SciFinder Scholar」の説明会が5月23, 24日に開催されました。

理学部、工学部、農学部、触媒化学センター各図書掛及び附属図書館本館の共催で企画し、学内3ヶ所の会場で行われました。

学部生57名、大学院生72名、教官19名、図書職員26名、その他4名の合計178名の参加がありました。

新入学生、院生、教官を対象に開催され、特に大学院生の参加が多くみられ、関心度の高さを伺えた講習会でした。参加者からは「構造で検索できることや検索内容をグラフで表示できるところが興味深かった」「よく利用させてもらっているがすごいソフトです」「上級者向けの説明会を開催してほしい」といった声が寄せられていました。

学部学生には難易度の高いデータベースではありましたが、どんなことが出来るデータベースなのか特徴を知ってもらえただけでも今後の研究に役立つことになるでしょう。

(情報サービス課参考調査掛)



理学部会場における説明風景

平成14年度「情報探索入門」を終えて

情報サービス課参考調査掛

平成13年4月から高等教育機能開発総合センター全学教育委員会と附属図書館との協議にもとづき、文献検索の方法を初年次で習得しておくことが、その後の高年次学習でもきわめて有効であるのもとに全学教育科目 一般教育演習における「情報探索入門」の講義が実施されました。平成14年度一般教育演習担当教官全員に講義の希望の有無を調査した結果、前期30名、後期17名、合計47名の教官から申し込みを受け、総数805名の受講がありました。

「情報探索入門」は講義担当教官列席のもとに、半期15コマの中の1コマ90分を図書館職員およびティーチング・アシスタント(TA)のスタッフで行われ、内容としては図書館資料を検索するための基本である蔵書検索の実習を中心に、また図書館ホームページを利用したサービスの紹介等ガイダンス的な内容も含めて授業がおこなわれました。

平成14年度末で資料数約340万冊を所蔵し、本館、分館、学部図書室併せて19の図書室があり、読みたい資料が学内のどの図書館(室)で所蔵しているかという事前調査が必要になります。直接書架に行って探すというのは効率のいい探し方ではありません。蔵書検索システム“OPAC”(Online Public Access Catalog)を使って検索し、目的とする資料のあり場所を確認してから書棚、書庫へいくことを習慣づける必要があります。

北大の蔵書検索システムは一見、キーワードを入れれば簡単に誰でも操作できるものではありますが、より使いやすい機能を備えていますのでこれらを紹介しながら、基本操作、検索語の入力上のポイント、検索結果の見方、雑誌については所蔵巻号の表示の見方や全国蔵書の検索方法等について実習してきました。

自由検索の時間には受講学生のテーマにあった図書を探す演習を行っていますが、テーマを表す言葉をいろいろと考えて、キーワードを工夫することを援助指導しています。また教官から要望があれば、文献検索データベースの紹介や電子ジャーナルの見方等についても紹介を行っています。

大多数の新入生はすでにインターネットを経験しており、端末操作については問題ありませんが、データベースの決まり事を十分に理解しないで使っているため検索結果がうまく得られないケースも見受けられます。

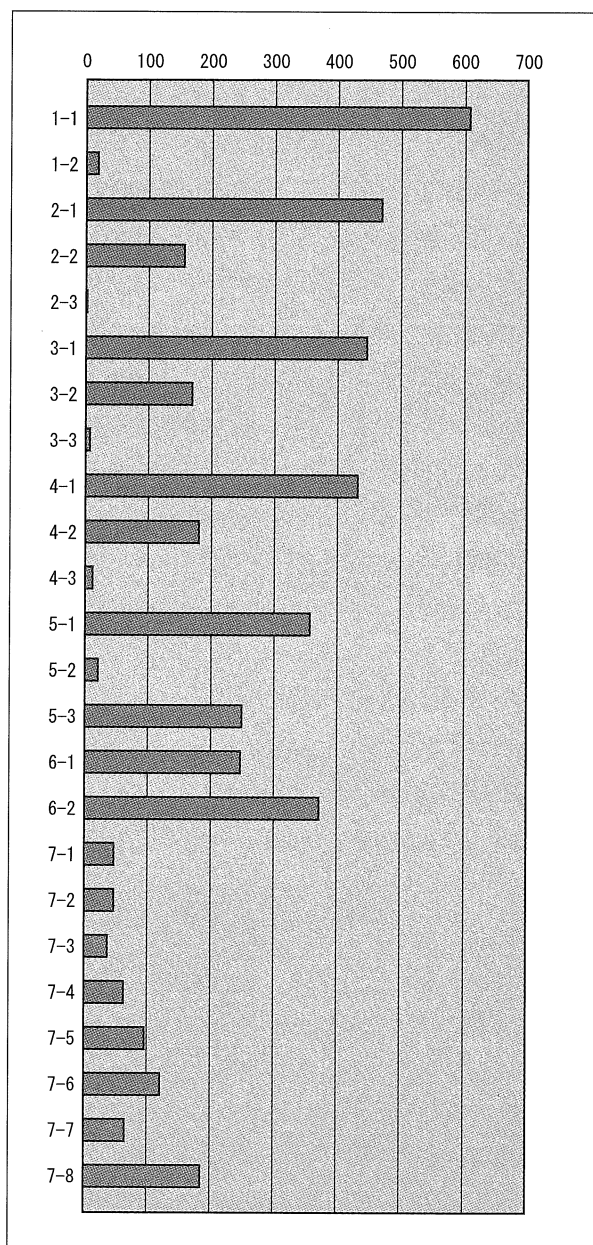
アンケートの結果を見る限り、97%の学生がこの講義が役に立ったと回答を寄せています。大学入学後早期にこの講義を受けたことを機会に、図書館をより身近に感じてもらい、図書館資源(資料はもちろん人をも)を有効に活用されることを望みます。

平成14年度「情報探索入門」アンケート結果

1. この講義は役にたちましたか？
2. 「北大の蔵書を探す」について説明はいかがでしたか？
3. 「全国の所蔵を調べる」について説明はいかがでしたか？
4. 「図書館 Web サイトで情報を探す」について説明はいかがでしたか？
5. 所要時間は適当でしたか？
6. 図書館で企画するセミナーやガイダンスに興味がありますか？
7. 興味のある内容がありましたら○をつけてください。

問い		total
	受講数	805
1-1	はい	608
1-2	いいえ	19
2-1	分かりやすい	469
2-2	まあまあ	156
2-3	分かりにくい	2
3-1	分かりやすい	446
3-2	まあまあ	169
3-3	分かりにくい	7
4-1	分かりやすい	432
4-2	まあまあ	180
4-3	分かりにくい	12
5-1	適当	357
5-2	短い	21
5-3	長い	249
6-1	ある	247
6-2	ない	372
7-1	図書館ツアー	47
7-2	文献の探しかた	47
7-3	図書や雑誌	37
7-4	国内の雑誌論文	63
7-5	海外の雑誌論文	96
7-6	新聞記事	121
7-7	図書(海外まで)	65
7-8	インターネット	185

アンケート回収率 75% 問い7は複数回答可



平成14年度図書館情報活用セミナー・講習会等実施報告

情報サービス課参考調査掛

○ライブラリーガイダンス・セミナー

全構成員を対象にトピックスを設け、目的にあったデータベースや電子ジャーナルを使って演習形式で行いました。

トピックス	回数	参加数	学生	院生	教官	職員	その他	分/1回
図書館オリエンテーション	2	22	5	13	1	0	2	90
図書館活用講座	2	11	0	9	0	0	2	40
北大の図書・雑誌を探す	5	17	3	3	1	0	10	45
文献の探し方：入門編	4	15	3	7	2	1	2	45
国内の文献の探し方	4	15	2	9	1	0	3	60
海外の文献の探し方(人文社会科学編)	4	6	0	5	0	0	1	60
海外の文献の探し方(自然科学編)	3	5	1	2	0	0	2	60
引用文献データベースを使う(WOS)	5	24	4	13	3	2	2	60
はじめて使う電子ジャーナル	4	18	5	5	2	1	5	60
電子ジャーナルステップアップ	2	11	2	4	1	1	2	60
電子ジャーナルステップアップ(文系編)	3	12	5	3	1	0	3	60
電子ジャーナルステップアップ(理系編)	3	16	10	2	2	1	1	60
世界のニュースを読む(LexisNexis Academic)	1	4	2	1	0	1	0	60
合計	42	176	42	76	14	7	35	

○ゼミ補助セミナー

学部生・大学院生を対象に教官からの申込みにより、ゼミ単位でゼミテーマにそったガイダンスや文献検索方法についてセミナーを実施しました。

トピックス	回数	参加数	学生	院生	教官	職員	その他	分/1回
経済学部生のための文献ワークショップ	6	74	58	14	3	0	0	90
文学部生のための文献ワークショップ	10	97	72	16	9	0	0	90
教育学部生のための文献ワークショップ	6	62	51	5	6	0	0	90
法学部生のための文献ワークショップ	1	5	4	0	1	0	0	90
農学部生のための文献ワークショップ	1	12	10	0	1	1	0	90
北方生物圏学生のための文献ワークショップ	1	4	3	1	0	0	0	90
合計	25	254	198	36	20	1	0	

○提供者による説明会・講習会等

学内の全構成員を対象に電子ジャーナルや学術文献データベースの提供元による説明会、講習会を開催しました。

トピックス	回数	参加数	学生	院生	教官	職員	その他	分/1回
EBSCOhost & ProQuest 説明会	1	27	0	2	1	23	1	120
ScienceDirect 電子ジャーナル講習会	2	31	1	6	6	18	0	90
SciFinder データベース利用説明会	2	113	22	23	44	22	1	90
合計	5	171	23	31	51	63	2	

The Works of Geoffrey Chaucer の寄贈

文学研究科助手 宮下 弥生

The Kelmscott *Chaucer* のファクシミリ版 (The Folio Society 発行) が、本学名誉教授 Willie Jones 氏 (言語文化部) より寄贈された。氏は15年半に渡り本学で教鞭をとって来られたが、本学に感謝の気持ちをお示しになりたいと今回の寄贈を希望された。

Kelmscott Press はイギリスの詩人・美術工芸家である William Morris (1834-96) が1890年に設立した出版社で、Geoffrey Chaucer (c.1343-1400) を始めとする中世文学や彼自身の作品も含めて53冊の作品を出版した。Morris は詩人として中世のロマンスにあこがれるロマンティックな世界を構築したが、一方で自分のまわりに現実として存在する醜悪な機械文明、物質文明に対する不満を、日常生活を取り巻く品々を自らの手で作り出すという形で示した。機械が大量に生産する画一化された調度ではなく、室内装飾も手作りの美しさを持たなければならないと考え、自らの手で糸を染めタペストリーを織り、家具やステンドグラスを作り、植物をモチーフにした壁紙のデザインを描いたのだった。このことは本についても言えた。機械によって大量に出版される本もやはり物質文明の象徴であった。そこで彼は Kelmscott Press を設立し、自らのデザインによる優美な活字や装飾文字、縁飾りを用い特別の手漉きの紙に印刷し、美しい豪華本を出版したのである。

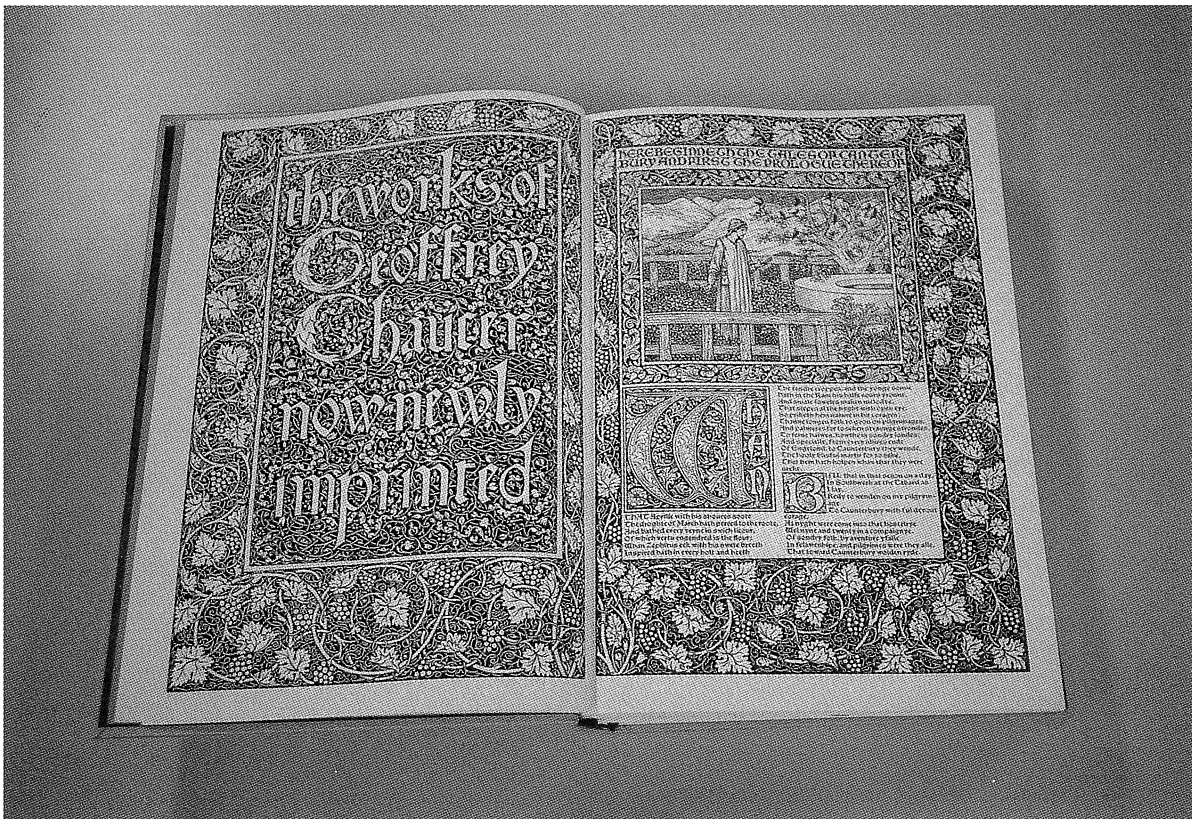
今回寄贈されたのはその中でも最も有名であり、Morris の業績の集大成とも言うべき *The Works of Geoffrey Chaucer* (1896) をロンドンの The Folio Society が recreate したものである。原本の装丁を丁寧にはずし、Cambridge University Press が写真印刷した。湖水地方の James Cropper という小さな会社が特別に製作したクリーム色の簀入りの紙を用い、表紙は今回の出版のために David Eccles が細心の注意を払って複製した葉っぱの文様を、山羊の革に金箔で型押しし、さらにそれを Smith Settle of Otley が手作業で製本したという (そのため限定1000冊の出版である)。Morris が先導した The Arts and Crafts Movement が21世紀の今日にも生きていることを感じさせる、recreation という語がふさわしい、気品溢れる重厚な、まさに芸術品というべきものである。

今回寄贈された本を、私も手にとって、というよりは重いので机に置いて、見ることができた。書物でありながら書物を越えた芸術品であり、そしてやはり読むための書物であった。Morris は出版する作品に応じて中世の写本を参考にゴシック活字のデザインを考案したが、*The Works of Geoffrey Chaucer* にもそのためにデザインされた Chaucer というフォントが用いられている。中世の写本の文字はなかなか読みにくいものであるが、このフォントは中世的でありながら、現代の読者にもとても読みやすいものとなっている。私はこの Chaucer という活字に、使い勝手がよく、美しくという Morris の精神を見たように思う。(もしこの本が自分のものだとしたら!) 書斎の机にこの本を置き、どんどん *The Canterbury Tales* やら *Troilus and Criseyde* やらを読み進めていける、その感覚に驚いた。現代の活字で読むのとあまり変わらない感覚で読めるのに、各ページが美しさに満ちている。まさに日常生活と芸術の融合であった。

そして、ページを繰っていくと、物語の内容にふさわしい沢山の挿し絵を楽しむことができる。装

飾やレイアウトは Morris 自身が担当したが、挿し絵は旧友で画家の Edward Burne-Jones が描いたものである。葡萄と葉っぱなどの一面の装飾に "the works of Geoffrey Chaucer now newly imprinted" の文字が浮き上がるタイトルページをめくると Chaucer とおぼしき人物が紙のようなものと驚ペンを手に庭の中で詩作にふける様子が描かれている。しかしこの絵の Chaucer は私たちが見慣れた物腰の柔らかそうな、ややふっくらとした Chaucer の肖像画（作者不詳、National Portrait Gallery, London 所蔵）とは違っている。もう一つ特に印象深かったのは *The Canterbury Tales* 中の "The Knight's Tale" に添えられた挿し絵、恋敵の Palamon と Arcite が牢獄の鉄格子から隣の庭にいる Emily をながめているものである。Chaucer が材源として用いた Boccaccio の *Teseida* の挿し絵を意識しながらも、Morris の創り上げたこの版にふさわしい挿し絵であるといえよう。

現在 Jones 先生（親愛を込めて私たちはそう呼んでいるのだが）は、文学研究科の英米文学特別演習（担当教官は長尾輝彦教授）をお手伝いくださっている。英文学全般に深い知識と理解をお持ちであり、Shakespeare の言葉一つ一つをわかりやすい表現で、イギリスの文化的背景も差し挟み、ユーモアも交えながら、解釈し説明してくださる。中でも私たちの一番の楽しみは先生の魂のこもった演じ読みである。時にはおもしろ可笑しく、時には言葉が心に迫るように響いてくる。その先生への日々の感謝を込めてこの紹介記事を書かせて頂いた次第である。



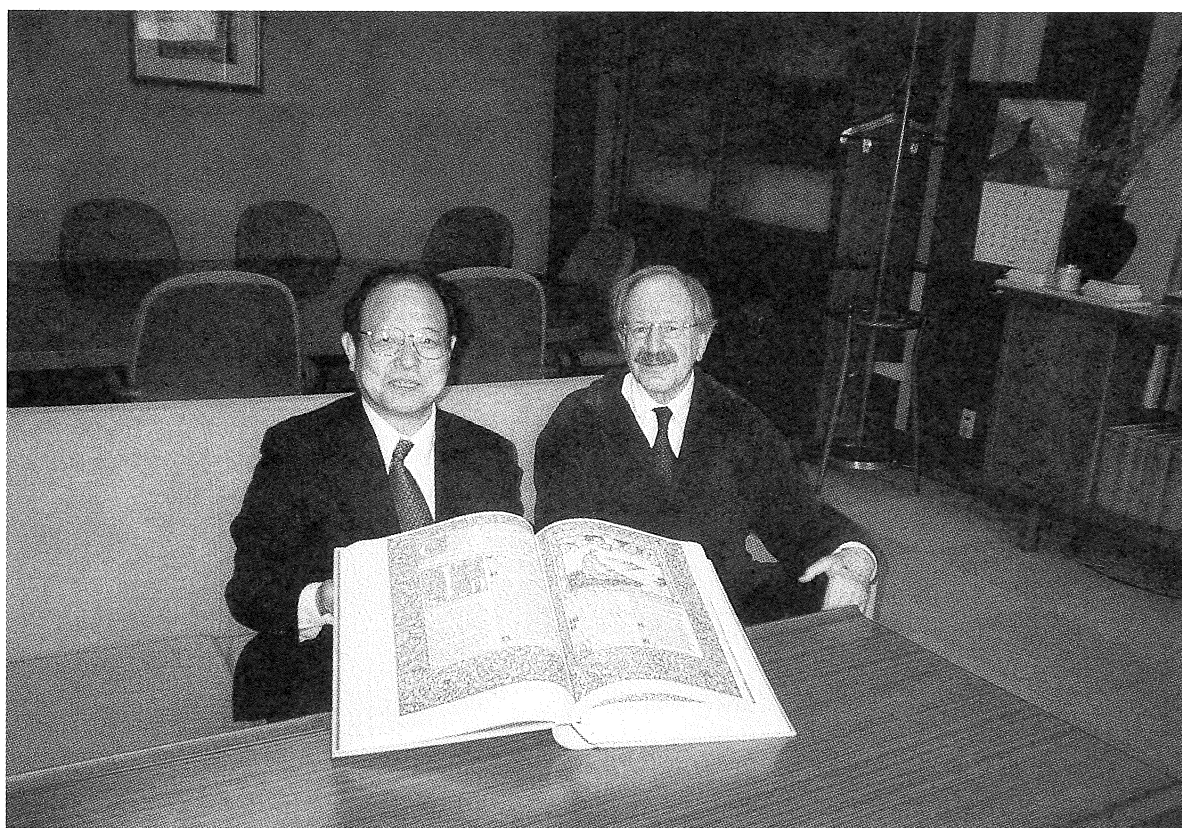
同書より、タイトルページと *The Canterbury Tales* の冒頭部分

豪華複製版「The Works of Geoffrey Chaucer」の寄贈について

本学名誉教授ウイリアム・ジョン・ジョーンズ先生から豪華複製版「The Works of Geoffrey Chaucer」の寄贈があり、4月10日(木)に贈呈式がありました。

贈呈式は、附属図書館館長室で行われ、ジョーンズ先生から井上館長に寄贈本が手渡された後、しばらく歓談があり、なごやかな雰囲気うちに終了しました。

この図書は、附属図書館本館の貴重書庫に配架されることになりました。興味のある方は、カウンターで手続きをされますと、手にとってご覧になることができます。



贈呈式後に寄贈本を手にした井上館長(左)とジョーンズ名誉教授(右)

平成14年度特別図書購入費で購入した資料

●英語版 ボロブドゥール(Barabudur)全4冊

世界的文化遺産であるインドネシアのボロブドゥールに関する詳細な調査報告書の英語版(原著はオランダ語版)。解説編2巻2冊及び図録編3巻2冊より成る。図類総700頁、解説総882頁に及ぶ。クロス装カバー付。図録篇には、隠れた基壇を含む説話図浮彫、遺蹟の眺望、仏像・仏塔図、建築図面などの図版692枚を鮮明に縮刷して収録。解説篇には、クロムの考古学的解説に、チャンドラ博士の序を新たに補っている。

●Stevens' Handbook of Experimental Psychology, 3rd ed. 全4巻 (Jhon Wiley)

本書は50年ほど前に第1版が刊行されて以来、改訂が重ねられ、本年第3版が刊行されたことから分かるように、実験心理学の分野では最も定評があり、かつ、信頼されているハンドブックの一つである。第3版においては、最近10年間での最新の知見が数多く収録されている。第1巻 感覚と知覚、第2巻 記憶と認知過程、第3巻 学習、動機付け、感情、第4巻 実験心理学における方法論、という内容は実験心理学の基本的なテーマを網羅するもので、方法論や行動遺伝学等の最新の研究結果も加わりより詳細な内容となった。

●2000年世界農林業センサス(財団法人農林統計協会情報事業部)

- ①農業集落カード CD-R (北海道)
- ②農業調査一覧表 CD-R (北海道)
- ③農業集落地図データ CD-R (北海道)

農林業センサスは、すべての農林業経営体を対象として5年おきに実施される国の指定統計であり、同分野における最も基本的な統計である。農業集落カード・農家調査一覧表には、この農林業センサスの結果の中でも、全国13万箇所(農家)の農業集落を単位とした最も詳細なデータが収録されている。その際、1970年以降の7回にわたる調査結果が、時系列的に比較することが可能な様式で提供される。また、農業集落地図データは、パソコン上で稼動する汎用 GIS (地理情報システム) における利用を前提として、shape ファイル形式にて作成されている。

●ナショナル・ジオグラフィック DVD ビデオ(東宝東和)

- 動物たちの豊かな世界シリーズ：32巻セット
地球の脈動と生命のドラマシリーズ：23巻セット

ナショナル・ジオグラフィック協会は、非営利の世界最大の科学・教育団体であり、その機関誌は世界180カ国に1,000万人を超える読者を擁している。「地理学の知識の向上と普及」を目的として設立された同協会は、6,500にもものぼる世界的規模の調査・探検活動を支援し、地球を調べ続けてきた。本セットは、それらの貴重な映像の数々を、美しく鮮明な DVD ビデオシリーズとしてまとめたものである。その収録内容は、地理(ジオグラフィック)の領域を超えて、自然・探検・歴史・地球環境・科学・宇宙民族・文化・世界の現状など、きわめて多岐にわたっている。

●台湾教育 16mm マイクロフィルム 28リール 明治34(1901)年7月～昭和17(1942)年12月 (第1～487号)(台湾教育会)

植民地期台湾における教育の理論・実践について具体的な諸政策を掲示する目的で発行された「台湾教育会雑誌」のマイクロフィルム版。

●斯民 復刻版 第1～10,17,21,23,32,38巻、別冊(目次総覧<新版>)(不二出版)

戦前日本の中央報徳会の機関誌である。明治39年4月創刊。昭和21年12月まで全40編471号刊行された。本誌は戦前の内務、農商務、文部各省の地方行政、地方自治方面の官僚を主導に編集刊行されたもので、戦前日本の内政を理解する上で欠かせない資料である。

●満州ニュース映画 (VHS ビデオ) 全10巻 (日本報道記者会)

旧満州国の国策映画会社「満州映画協会」が作成したフィルムからニュース映画をすべて抜き取ったシリーズ。

●Report of the Royal Commission on Taxation. Vol.1-6 with Consolidated Index. (極東書店)

「カッター報告」として有名な税制改革案を掲示した歴史的に貴重な本である。カナダにおいて包括的所得税の提案を行った本で、現在でも包括的所得税論のバイブルとなっている。

● **The Economic Writings of William Thornton. 5 vols. (Pickering & Chatto)**

William Thornton (1813-80年)は、19世紀中頃に活躍したイギリス人経済学者であり、この著作集には彼の主要著作が全て含まれている。Thorntonは、アイルランド問題について、大規模農場ではなく、自作農創設という解決策を掲示し、当時の重大な経済問題に取り組むのと同時に、理論面でも需要供給原理を検討し、J.S.ミルの賃金基金説「撤回」に重大な影響を与えた人物である。

● **中外商業新報(復刻版) 1889-1890年 第1~12号 (柏書房)**

「日本経済新聞」の前進で、1876年に創刊された「中外物価新報」が改題されたものである。「物価新報」時代から全国主要都市の「商況」、即ち物価及び株価データとその解説、「海外商況」、米相場の速報等の「電報」等、当時の新聞・出版業界においては質量ともに他の追随を許さない経済情報を掲載していたが、「商業新報」への改題後、頁数の増加により更に記事の内容が充実した。1942年「日本産業経済」と改題し、次いで1946年「日本経済新聞」と改題して現在に至っている。本誌は既にマイクロフィルム版が(株)ニチマイより刊行されており、その復刻版である。

● **Journal of Communication Inquiry. Vol.1-16 (1974-1992) (Univ. of Iowa)**

コミュニケーションとマスコミュニケーションという社会現象を社会学、文化研究、歴史、哲学、法律、その他の幅広い視点から学際的に研究することを主な目的とする雑誌。

● **Europaeische Zeitschrift fuer Wirtschaftsrecht (EuZW) 1990-2001 (C.H.Beck)**

名称は「ヨーロッパ経済法雑誌」というものだが、扱われている領域は民法・商法・民事訴訟法・破産法と私法全般に及び、論文はもちろん、裁判例も取り上げられている。またタイトルがドイツ語のみならず、英語及びフランス語でも表記されていることから分かるように、ドイツ法のみならず、ヨーロッパ各国の法制度が検討対象とされており、近時のEU法への流れの具体的諸相を把握するうえで有益このうえない文献である。さらに少なくともドイツにおいては、近年ヨーロッパ統合への志向性が強いことも相まって、EU法あるいはヨーロッパ各国法への関心がことのほか高まっており、本誌はそのフォーラムの役割を果たしている。現代ドイツ法のみならず、現代ヨーロッパ私法を語るうえで必要不可欠な文献であり、引用頻度も極めて高いことを付言しておく。

● **Bibliothek des deutschen Strafrechts: Alte Meister 24-30,32-34 (Keip Verlag)**

本叢書は、現在原本では非常に入手が困難となっている、ドイツ刑事法学研究史上著名な基本文献を精選する大型復刻シリーズです。本叢書には中世から今日に及ぶドイツ刑法・刑事訴訟法の成立とその発展に画期的な役割を果たしてきた古典的な名著が網羅されております。16~18世紀の著作を収録する「初期刑法学者編」(Alte Meister)、19世紀の著作を収録する「近代刑法学者編」(Meister der Moderne)、そして今世紀初頭の重要文献を精選した「20世紀刑法学者編」(Neuer Meister)から構成されており、ドイツ刑事法研究をする上でなくてはならない重要文献である。

● **Digest of Strasbourg Case-Law Relating to the European Convention on Human Rights. Vols. 1-6 (Heymanns)**

本書は、ヨーロッパ人権保護条約に基づき設立されたヨーロッパ人権裁判所の判例をダイジェストに編集したものです。

● **Journalism & mass communication quarterly. 1990-現在までのバックナンバー(AEJMC)**

1912年設立の米国最古、最大のジャーナリズム、マスコミュニケーション分野の学会「ジャーナリズム・マスコミュニケーション教育学会」(AEJMC)が発行する、同国で最も権威ある当該分野の学術雑誌。内容は最新のコミュニケーション理論、国際コミュニケーション、ジャーナリズム史など多岐にわたる。1924年創刊。季刊。現在の事務局はサウスカロライナ大学ジャーナリズム学部。

● **e-コマースシステム技術大系(フジテクノシステム)**

電子商取引に関する技術解説書。考えられうる技術に関して体系的・網羅的にまとまり、実務家による執筆により、実用性の高いものとなっている。

● **日本語版ワイリーのコンピュータセキュリティハンドブック(フジテクノシステム)**

コンピュータセキュリティに関するあらゆる視点を網羅的に集大成したもの。技術だけではなく、背景社会との整合を目指す意味で、法律、判例、組織論、規制類などの説明も加えられている。

●日本語法史 全4巻 (笠間書院)

日本語を一貫した方法で通時的に上代から近世まで記述した書籍。奈良・平安、鎌倉、室町、江戸編などに分かれた、全4巻。日本に現存する図書の中で、本書籍のみが上代から近世までの日本語を歴史的に研究しており、極めて基礎資料性の高い基本にして上級のコレクションであることは疑いようがない。

●Routledge Encyclopedia of International Political Economy. 全3巻 (Routledge)

国際政治経済学は、「経済化」が進む20世紀後半の国際政治を、より市場の影響を含めた広範な分析を目的にロンドン大学LSEが始めた学問分野である。本書は、グローバリゼーションが急速に進展する世界情勢を背景に、過去10年間飛躍的に発展を遂げている国際政治経済学の諸問題・諸理論を網羅的にカバーした初めての百科事典である。同じRoutledge社から出ている、グローバリゼーションに関する事典 Globalization: Critical Concept in Sociologyとセットで所蔵することにより、グローバリゼーションと国際政治経済学が相互補完的に理解できる。

●Globalization: Critical Concepts in Sociology. 全4巻 (Routledge)

地球上のあらゆる現象が、相互にしかも敏感に影響しあう今日の状況は、「国際」の視点よりもグローバリゼーションの視点が適している。本書は、社会科学の老舗Routledge社がグローバル化の諸概念、諸理論の研究論文を網羅的に収め、学際的視点から、国際システムにおける国家、アイデンティティー、人権、環境、メディア、などのテーマについて詳細に説明している。総合索引を備え、辞書としての機能も持ち合わせる。同じRoutledge社から出ている国際政治経済学の事典、Routledge Encyclopedia of International Political Economyとセットで所蔵されることが国際関係論の立場からも非常に望ましい。

●Culture: Critical Concepts in sociology. 全4巻 (Routledge) 膾炙

本書は、「文化」という人口に膾炙しつつも、定義が難解である概念について、学際的な論文を収録して、「文化」の多面性や広範な解釈の幅について説明している。文化と社会構造、信条、唯物論、階層構造、再生産、サブカルチャー、視覚文化、都市文化などにおける、デュルケムなどの古典的名著から、ブルデューなどの比較的新しい論文を収めている。本書は、収められた論文の背景や違いを説明する序文をつけており、学生諸君の理解や本書の概要把握に便利である。また、完全索引がついており、全巻を通しての関連箇所参照が可能である。

●Social Networks: Critical Concepts in Sociology. 全4巻 (Routledge)

本書は、元来ミクロなコミュニケーションやリーダーシップを研究してきた社会ネットワーク概念が、より広範な政治経済関係の研究対象、そしてIT時代のより強力な分析概念となってきた「ソーシャル・ネットワーク」分析を踏まえて、この分析技術の変遷における重要な諸文献、諸情報を網羅的に収め、より体系的に使える「ソーシャル・ネットワーク」の資料となっている。全4巻は7章に分けられており、ソーシャル・ネットワークの概念化、計量社会学、数理的ネットワークモデルに注目しながら、家族及びコミュニティ、組織力と経済構造、政治的抗議と政策的ネットワーク、知識、世評の問題などを取り上げている。量、質ともに優れたコレクションである。

新聞マイクロフィルムの購入

平成14年度に附属図書館で次の新聞マイクロフィルムを購入しました。

光明日報；1955-1999
 中央日報；1954-1967
 大公報；1957-1965
 Frankfurter Allgemeine Zeitung；1957-1992
 Le monde；1963-1994
 The Times；1956-1989
 東亜日報；1987-1999
 Die Zeit；1964-1981
 Japan Times；1897-1936, 1956-1979

新聞データベース - ますます充実しています

全学的な学術文献データベースの導入、大学院国際広報メディア研究科プロジェクトによる世界の主要日刊紙等の購入等により、新聞データベースのタイトル数が格段に増加しました。ここでは、全学で利用できるもの・本館で利用できるもの・北分館で利用できるものに大別しご紹介します。

●全学共通

－ WEB 媒体のもの－

データベースタイトル	収録範囲	媒体	利用方法
北海道新聞記事データベース	1988.7-current	Web	
LexisNexis Academic 《主要なタイトル》	1980.6-current 1984.7-current 1985.7-current 1990.1-current 1993.1-current	Web	学内どこからでもアクセス可能 ※ New York Times 抄録 (1969.1-1980.5)
・ New York Times ・ The Guardian ・ The Times ・ Le Monde ・ Frankfurter Allgemeine Zeitung 他約350紙			

●本館

－ WEB 媒体のもの－

データベースタイトル	収録範囲	媒体	利用方法
朝日新聞全文記事データベース	1984.8-current	Web	附属図書館 4 階参考閲覧室で利用

－ CD-ROM 媒体のもの－

データベースタイトル	収録範囲	媒体	利用方法
日本経済新聞	1990-2002	CD-ROM	附属図書館 4 階参考閲覧室で利用
CD-毎日新聞	1991-2002	CD-ROM	〃
毎日新聞総合索引 (CD-5yrs)	1991-1995	CD-ROM	〃
朝日新聞見出しデータベース (CD-ASAX)	1945-1995	CD-ROM	〃
朝日新聞号外	1879-1998	CD-ROM	〃
朝日新聞戦前紙面データベース	1926-1945	CD-ROM	〃
明治の読書新聞	1874-1912	CD-ROM	〃
大正の読書新聞	1912-1926	CD-ROM	〃
昭和の読書新聞-戦前 I	1926-1936	CD-ROM	〃

●北分館

大学院国際広報メディア研究科プロジェクトにより、平成14年6月1日からサービスを開始しました。新たに「台湾時報」「昭和の読書新聞-戦前 I」を加えた世界の主要日刊紙がご利用いただけます。

－ CD-ROM・DVD-ROM 媒体のもの－

データベースタイトル	収録範囲	媒体	利用方法
日本			
日本経済新聞十日経産業・金融・流通新聞	1990-2000	DVD-ROM	北分館 2 階新聞 CD-ROM コーナーで利用
日本経済新聞	2001-2002	CD-ROM	〃
CD-毎日新聞	1991-2001	CD-ROM	〃
朝日新聞戦前紙面データベース	1926-1934	CD-ROM	〃
明治の読書新聞	1874-1912	CD-ROM	〃
大正の読書新聞	1912-1926	CD-ROM	〃
昭和の読書新聞-戦前 I	1926-1936	CD-ROM	〃
同盟通信社「写真特報」コレクション	昭和10年代	CD-ROM	〃
中国			
人民日報	1946-2001	CD-ROM	〃
台湾			
台湾時報 (日本語)	1919-1945	CD-ROM	〃
イギリス			
The Guardian (1821-) + Observer	1990-2000	CD-ROM	〃
The Times (1785-) + The Sunday Times	1990-2000	CD-ROM	〃
フランス			
Le Monde	1995-2000	CD-ROM	〃
ドイツ			
Suddeutsche Zeitung	1998-2000	CD-ROM	〃
ロシア			
独立新聞	1998-2000	CD-ROM	〃
モスクワニュース	1996-2000	CD-ROM	〃

教官著作寄贈図書

2003.3.1-2003.6.30

[本館]

(名誉教授)

酒井 昭	植物の耐寒戦略	北大図書刊行会	2003
------	---------	---------	------

(文学部)

北村 清彦	藝術解釈学	北大図書刊行会	2003
廣川 晶輝	万葉歌人大伴家持	北大図書刊行会	2003
櫻井 義秀	Regional development in northeast Thailand and the formation of Thai civil society	Khon Kaen University Press	2003

(教育学部)

逸見 勝亮	ジェンダーと教育の歴史	川島書店	2003
-------	-------------	------	------

(経済学部)

吉見 宏	ケースブック監査論第2版	新世社	2003
------	--------------	-----	------

(法学部)

田村 善之	ネットワーク社会と著作権制度	著作権情報センター	2003
神原 勝	北海道行政基本条例論	公人の友社	2003
	神原 勝の首長鼎談	北海道町村会	2003
	神原 勝の首長対談	北海道町村会	2000

(スラブ研究センター)

宇山 智彦	中央アジアを知るための60章	明石書店	2003
-------	----------------	------	------

(留学生センター)

常田 益代	図説ロマネスクの教会堂	河出書房新社	2003
-------	-------------	--------	------

[分館]

(教育学部)

逸見 勝亮	親もとをはなれて (学童疎開：写真・絵画集成；1)	日本図書センター	2003
逸見 勝亮	ひもじさに耐える (学童疎開：写真・絵画集成；2)	日本図書センター	2003
逸見 勝亮	絵日記にみる疎開生活 (学童疎開：写真・絵画集成；3)	日本図書センター	2003
逸見 勝亮	ジェンダーと教育の歴史	川島書店	2003

(留学生センター)

常田 益代	図説ロマネスクの教会堂	河出書房新社	2003
-------	-------------	--------	------

ご惠贈誠にありがとうございました。図書館では本学教官が執筆した図書資料を収集しています。新たに本を出版される際には、是非ご惠贈くださるようご協力お願い致します。

平成14年度 図書館統計

蔵書冊数・雑誌所蔵種類数(平成14年度)

区 分	蔵書冊数(15.3.31現在)			図書受入冊数			雑誌所蔵種類数(15.3.31現在)			雑誌受入種類数		
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計
附属図書館	714,864	564,504	1,279,368	22,185	11,034	33,219	17,763	10,893	28,656	2,356	787	3,143
法学研究科・法学部	(92,786)	(164,126)	(256,912)	(1,941)	(3,814)	(5,755)	(706)	(456)	(1,162)	(614)	(417)	(1,031)
経済学研究科・経済学部	(107,999)	(73,034)	(181,033)	(1,404)	(1,864)	(3,268)						
教育学研究科・教育学部	(72,597)	(30,336)	(102,933)	(13,750)	(3,500)	(17,250)						
北 分 館	152,043	92,756	244,799	3,935	1,158	5,093	1,424	793	2,217	336	251	587
言語文化部	(32,079)	(74,705)	(106,784)	(722)	(806)	(1,528)	(95)	(197)	(292)	(41)	(171)	(212)
高等教育機能開発総合センター	(2,738)	(842)	(3,580)	(415)	(55)	(470)	(179)	(154)	(333)	(58)	(41)	(99)
国際広報メディア研究科	(502)	(290)	(792)	(23)	(12)	(35)	(71)	(31)	(102)	(49)	(25)	(74)
文学研究科・文学部	158,879	192,967	351,846	6,663	4,731	11,394	3,027	1,727	4,754	1,362	652	2,014
教育学研究科・教育学部	24,815	7,216	32,031	0	0	0	1,877	338	2,215	1,251	225	1,476
経済学研究科・経済学部	4,690	2,877	7,567	0	0	0	1,309	499	1,808	1,068	345	1,413
理学研究科・理学部	30,649	152,251	182,900	230	2,313	2,543	603	2,865	3,468	192	589	781
医学研究科・医学部	72,263	109,248	181,511	938	1,508	2,446	3,076	2,573	5,649	1,043	725	1,768
歯学研究科・歯学部	24,727	21,750	46,477	1,030	390	1,420	587	553	1,140	345	193	538
薬学研究科・薬学部	5,972	16,987	22,959	306	447	753	127	304	431	89	86	175
工学研究科・工学部	169,255	149,965	319,220	1,198	423	1,621	2,393	2,677	5,070	869	792	1,661
農学研究科・農学部	174,666	118,776	293,442	1,064	825	1,889	3,831	2,897	6,728	1,301	732	2,033
北方生物圏フィールド科学センター	30,439	3,262	33,701	0	0	0	262	216	478	24	71	95
獣医学研究科・獣医学部	11,618	25,616	37,234	263	488	751	464	892	1,356	118	177	295
水産科学研究科・水産学部	84,559	56,781	141,340	648	796	1,444	2,377	2,076	4,453	1,136	713	1,849
地球環境科学研究科	10,354	8,076	18,430	168	298	466	235	308	543	127	102	229
低温科学研究所	9,131	22,045	31,176	77	336	413	599	719	1,318	302	284	586
電子科学研究所	5,840	20,604	26,444	25	510	535	381	466	847	136	93	229
遺伝子病制御研究所	824	6,637	7,461	2	259	261	4	95	99	106	67	173
触媒化学研究センター	3,536	13,576	17,112	28	233	261	54	244	298	10	29	39
スラブ研究センター	2,944	91,528	94,472	281	6,751	7,032	106	1,435	1,541	66	493	559
大型計算機センター	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2
先端科学技術共同研究センター	79	1	80	0	0	0	2	5	7	0	21	21
情報メディア教育研究総合センター	174	413	587	0	0	0	44	18	62	32	5	37
総合博物館	1,015	1,584	2,599	179	96	275	39	126	165	8	5	13
事務局	1,824	156	1,980	0	0	0						
旧教養部	2,928	954	3,882	0	0	0						
医療技術短期大学部	31,210	4,213	35,423	841	96	937	673	136	809	413	65	478
計	1,729,298	1,684,743	3,414,041	40,061	32,692	72,753	41,257	32,856	74,113	12,690	7,504	20,194

利用状況 (平成14年度)

開館日数・入館者数

区 分	開架閲覧室		本 書 庫		館 参 考 閱 覧 室		北 方 資 料 室	
	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数
平日	236	298,788	236	19,305	245	37,981	245	3,005
日中 夜間	195	101,202	195	3,038	—	—	—	—
土・日・休	107	64,057	107	2,866	—	—	—	—
計	343	464,047	343	25,209	245	37,981	245	3,005

区 分	開架閲覧室	本 書 庫	北 方 資 料 室
	人数	人数	人数
学 部 学 生	221,875	—	846
大 学 院 生	74,439	—	689
教 官	66,076	25,209	316
職 員			62
そ の 他			1,084
放送大学学生	3,099	—	8
その他不明	98,558	—	—
計	464,047	25,209	3,005

区 分	北 分 館 (2階閲覧室入館ゲート)					
	開架閲覧室		本 書 庫		マルチメディア公開利用室	
	日数	人数	日数	人数	日数	人数
平日	245	301,684	245	1,138	245	122,964
日中 夜間	192	99,488	192	204	192	42,876
土・日・休	107	56,073	107	213	107	32,125
計	352	457,245	352	1,555	352	197,965

区 分	北 分 館		
	開架閲覧室	本 書 庫	
	人数	人数	
学 部 学 生	386,916	—	
大 学 院 生	29,278	—	
教 官	24,241	1,555	
職 員			—
そ の 他			—
放送大学学生	5,853	—	
その他不明	10,957	—	
計	457,245	1,555	

館外貸出冊数

区 分	開架閲覧室		本 書 庫		国際資料室		北 方 資 料 室		合 計
	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	人数	冊数	
学 部 学 生	33,613	57,629	4,790	7,318	43	62	806	1,335	66,344
大 学 院 生	12,966	22,453	9,120	25,433	76	124	483	832	48,842
教 官	1,705	2,895	3,055	9,685	16	24	247	454	13,058
職 員	1,884	3,376	542	888	14	24	106	126	4,414
放送大学学生	610	1,030	267	445	0	0	6	12	1,487
その他	494	835	325	657	10	22	503	1,395	2,909
計	51,272	88,218	18,099	44,426	159	256	2,151	4,154	137,054

区 分	北 分 館		本 書 庫		合 計
	人数	冊数	人数	冊数	
学 部 学 生	44,848	74,182	1,260	1,654	75,836
大 学 院 生	6,318	11,458	928	2,083	13,541
教 官	787	1,505	267	541	2,046
職 員	1,382	2,023	61	95	2,118
放送大学学生	785	1,422	15	24	1,446
その他	386	728	143	347	1,075
計	54,506	91,318	2,674	4,744	96,062

レファレンスサービス件数

区 分	文献所在調査	事項調査	利用指導	その他	合 計
本館	1,722	243	1,058	290	3,313
北方	638	1,021	205	136	2,000
北 分 館	254	57	318	21	650

文献複写件数・枚数及び相互貸借件数

区 分	件 数	文 献 複 写		現物貸借 冊 数
		電子複写枚数	マイクロリーダー枚数	
本 館	依 頼	2,695	—	607
	受 付	6,070	40,730	2,022
	依 頼	678	—	73
	受 付	23	212	0
北 分 館	依 頼	166	1,429	137
	受 付	242	2,188	257
	依 頼	—	—	—
	受 付	—	—	—

3年間の利用状況

区 分		平成12年度	平成13年度	平成14年度
総 入 館 者 数	本 館	504,774	459,694	502,028
	北 分 館	395,070	434,676	457,245
館 外 貸 出 冊 数	本 館	115,152	119,534	137,054
	北 分 館	79,214	90,856	96,062
レ フ ァ レ ン ス 件 数	本 館	4,563	3,922	5,313
	北 分 館	719	563	650
文 献 複 写 受 付 件 数	本 館	6,809	7,136	6,093
	北 分 館	377	242	242
現 物 貸 借 受 付 件 数	本 館	2,198	2,163	2,022
	北 分 館	415	420	257

貸出頻度順リスト

本館・開架閲覧室

順位	回数	冊数	書名	著者
1	74	3	ハリー・ポッターと秘密の部屋	J. K. ローリング
2	66	3	ハリー・ポッターとアズカバンの囚人	J. K. ローリング
3	61	7	ミクロ経済学	武隈慎一
4	58	3	ハリー・ポッターと賢者の石	J. K. ローリング
5	57	9	ヴォート生化学(上)	"Donald Voet, Judith G Voet"
6	54	8	生化学	Lubert Stryer
7	53	11	細胞の分子生物学	Bruce Alberts
8	49	9	ヴォート生化学(下)	"Donald Voet, Judith G Voet"
9	48	9	ドイツ法制史概説	ミッタイス、リーベリッヒ
10	47	3	債権各論(民法 2)	内田貴
11	37	4	教材憲法判例	中村陸男
12	36	3	ハリー・ポッターと炎のゴブレット(下)	J. K. ローリング
13	35	4	入門ミクロ経済学	井堀利宏
14	34	3	総則・物権総論(民法 1)第2版補訂版	内田貴
15	33	4	なっとくする演習・熱力学	小暮陽三
15	33	2	総則・物権総論(民法 1)第2版	内田貴
17	32	4	量子力学 1	猪木慶治、川合光
17	32	7	法思想史(有斐閣Sシリーズ20)	田中成明
17	32	3	憲法(伊藤真試験対策講座 5)	伊藤真
17	32	1	肩ごしの恋人	唯川恵
17	32	3	ハリー・ポッターと炎のゴブレット(上)	J. K. ローリング
22	31	4	演習ミクロ経済学(演習新経済学ライブラリ 1)	武隈慎一
23	30	3	刑法総論	山口厚
23	30	3	経営戦略(有斐閣アルマ special i)	大滝精一
23	30	2	Harry Potter and the philosopher's stone	J.K. Rowling
23	30	3	ゼロから学ぶ量子力学	竹内薫
23	30	5	政治学史	福田歓一
28	28	8	分子細胞生物学(上)	H.Lodish
28	28	1	ぼくの小鳥ちゃん(新潮文庫 え-10-8)	江国香織
28	28	4	バイオサイエンスの統計学	市原清志
31	27	4	植物生理学入門	桜井英博
31	27	4	標準生理学(Standard textbook)	本郷利憲
31	27	3	ゼロから学ぶ熱力学	小暮陽三
31	27	5	Essential 細胞生物学	Bruce Alberts
31	27	3	フェルミ熱力学	エンリコ・フェルミ
36	26	4	経済分析の歴史 5	シュムペーター
36	26	3	電磁気学(物理テキストシリーズ 4)	砂川重信
36	26	4	遺伝子の分子生物学(上)	James D. Watson
39	25	1	こうばしい日々(新潮文庫 え-10-2)	江国香織
39	25	3	ボルハルト・ショアー現代有機化学(上)	"K.P.C. Vollhardt, N.E. Schore"
39	25	1	債権総論・担保物権(民法 3)	内田貴
39	25	1	堪忍箱(新潮文庫 み-22-12)	宮部みゆき
39	25	3	遺伝子	Benjamin Lewin
39	25	5	詳解力学演習	後藤憲一
45	24	2	新民事訴訟法	新堂幸司
45	24	2	韓国の美術・日本の美術	鄭干澤
45	24	1	函館の建築探訪	函館建築研究会
45	24	3	刑法総論講義	前田雅英
45	24	6	フィールドワーク(ワードマップ)	佐藤郁哉
45	24	5	プレートテクトニクスの基礎	瀬野徹三

北分館・開架閲覧室

順位	貸出回数	冊数	書名	著者名
1	177	24	細胞の分子生物学	Bruce Alberts [ほか]著
2	138	14	Essential 細胞生物学	Bruce Alberts [ほか]著
3	78	5	なっとくする演習・熱力学	小暮陽三著
4	70	10	演習微分積分 (サイエンスライブラリ 3)	寺田文行[ほか]共著
5	64	7	生化学	Lubert Stryer 著
6	61	4	なっとくする熱力学	都筑卓司著
7	59	7	例解熱・統計力学演習 (物理入門コース 4)	戸田盛和, 市村純著
7	59	6	量子化学: 基本の考え方16章	中田宗隆著
9	56	5	なっとくする行列・ベクトル	川久保勝夫著
10	54	5	フェルミ熱力学	エンリコ・フェルミ著
11	53	10	基礎物理化学 上	Walter J. Moore 著
12	51	4	電磁気学の考え方 (物理の考え方 2)	砂川重信著
12	51	4	なっとくする電磁気学	後藤尚久著
12	51	5	遺伝子	Benjamin Lewin 著
15	49	5	なっとくする電気回路	國枝博昭著
16	48	2	ハリー・ポッターと賢者の石	J. K. ローリング作
16	48	2	ハリー・ポッターと秘密の部屋	J. K. ローリング作
18	47	5	なっとくするフーリエ変換	小暮陽三著
18	47	5	熱・統計力学 (物理入門コース 7)	戸田盛和著
18	47	5	なっとくする量子力学	都筑卓司著
21	46	4	例解量子力学演習 (物理入門コース 3)	中嶋貞雄, 吉岡大二郎著
21	46	4	なっとくする演習・量子力学	小暮陽三著
23	45	3	ヴォート基礎生化学	D. Voet [ほか]著
23	45	5	なっとくする微分方程式	小寺平治著
23	45	2	ハリー・ポッターとアズカバンの囚人	J. K. ローリング作
23	45	9	大学の基礎化学	喜多英明, 市川和彦共著
23	45	5	機器分析 (分析化学 2)	クリスチャン著
28	44	7	微分積分学: 詳説演習	塹江誠夫[ほか]共著
28	44	11	基礎物理化学 下	Walter J. Moore 著
28	44	5	なっとくする量子化学	中田宗隆著
31	43	7	遺伝子の分子生物学 上	James D. Watson [ほか]原著
31	43	4	なっとくする統計力学	都筑卓司著
31	43	6	基礎有機化学	H. ハート著
34	42	5	工学技術者のための熱力学	甲藤好郎著
34	42	5	なっとくする演習・電磁気学	後藤尚久著
36	41	2	新C++言語入門 ビギナー編	林晴比古著
36	41	5	積分	上見練太郎[ほか]共著
36	41	5	固体物理学入門 上	Charles Kittel 著
39	39	5	生命科学のための物理化学 上	D. アイゼンバーグ[ほか]著
39	39	5	エントロピーを中心に: 熱学から熱力学へ	石鍋孝夫著
39	39	4	はじめて学ぶ大学の有機化学	深澤義正, 笛吹修治著
39	39	4	例解電磁気学演習 (物理入門コース 2)	長岡洋介, 丹慶勝市著
39	39	3	新C言語入門 ビギナー編	林晴比古著
39	39	5	Study guide and solutions manual for McMurry's organic chemistry	Susan McMurry 著
39	39	3	TOEFL リーディング問題270	田中真紀子著
46	38	5	なっとくする材料力学	辻知章著
46	38	2	ノルウェイの森 上	村上春樹著
46	38	3	科学者と技術者のための物理学 3	Raymond A. Serway 著
46	38	10	微分	上見練太郎[ほか]共著
50	37	4	大学演習熱学・統計力学	久保亮五編
50	37	3	すぐわかる線形代数	石村園子著
50	37	5	なっとくする解析力学	都筑卓司著
50	37	8	有機化学 中	Robert T. Morrison [ほか]著
50	37	5	ボルハルト・ショアー現代有機化学 上	K.P.C. Vollhardt, N.E. Schore 著
50	37	5	なっとくする一般力学	小暮陽三著

会議 (15.3.1~15.6.30)

【学 内】

◎図書館委員会

○第192回 <3月14日(木)>

議 題

- 1 附属図書館増築・改修検討小委員会報告について
- 2 平成14年度北海道大学附属図書館自己点検評価小委員会報告について
- 3 平成15年度図書館資料(大型コレクション)収書計画調書について
- 4 北海道大学附属図書館における新聞の保存基準について
- 5 北海道大学附属図書館における学外者の利用に関する内規について
- 6 平成15年度本館・北分館の開館予定について
- 7 その他

報告事項

- 1 外国語新聞の廃棄について
- 2 2003年度学術コンテンツ整備状況について
- 3 文学研究科及びスラブ研究センターとの図書業務統合について
- 4 学外者の登録及び利用状況について
- 5 学生生活実態調査要望事項への回答
- 6 「情報探索入門」平成14年度実施実績と平成15年度実施計画について
- 7 蔵書点検作業の実施について
- 8 新図書館情報システムについて
- 9 その他

◎北分館委員会

○第138回 <6月16日(月)>

議 題

- 1 平成14年度北分館図書費決算(案)について
- 2 平成15年度事業計画(分館関連事項)
- 3 その他

報告事項

- 1 「平成15年度北分館概要」について
- 2 平成14年度事業報告(分館関連事項)
- 3 その他

◎学術研究コンテンツ小委員会

○第1回 <6月23日(月)>

【学 外】

◎国立大学図書館協議会

○理事会等 <5月29日(木)~30日(金)> (東京大学)

○総会 <6月25日(水)~26日(木)> (埼玉大学)

◎平成15年度国立大学附属図書館事務部課長会議 <5月28日(水)> (東京医科歯科大学)

◎第35回国立大学図書館協議会北海道地区協議会 <4月24日(木)> (小樽商科大学)

◎北海道地区大学図書館協議会

○第46回図書館職員研究集会企画委員会(北海道大学)

第1回 <4月23日(水)> 第2回 <5月21日(水)> 第3回 <6月11日(水)>

○幹事館会議(北海道大学)

第1回 <3月19日(水)> 第2回 <6月19日(木)>

図書館委員会委員名簿

平成15年6月1日

区 分	職 名	氏 名	電 話	任 期	備 考
		館 長	井 上 芳 郎	2963	15. 5. 1~17. 4.30
	副館長	大 平 具 彦	5358	15. 5. 1~17. 4.30	
文 学 研 究 科	教 授	山 田 貞 三	3052	15. 4. 1~17. 3.31	分館委員
教 育 学 研 究 科	教 授	所 伸 一	3101	14. 4. 1~16. 3.31	
法 学 研 究 科	教 授	笹 田 栄 司	3141	14. 4. 1~16. 3.31	
経 済 学 研 究 科	教 授	吉 田 文 和	2782	15. 4. 1~17. 3.31	分館委員
理 学 研 究 科	教 授	儀 我 美 一	2672	15. 4. 1~17. 3.31	
医 学 研 究 科	教 授	安 田 慶 秀	6040	15. 4. 1~17. 3.31	分館委員
医 学 部 附 属 病 院	教 授	今 村 雅 寛	7213	14. 9.16~16. 9.15	
歯 学 研 究 科	教 授	小 口 春 久	4290	14. 4. 1~16. 3.31	
薬 学 研 究 科	教 授	松 田 正	3243	15. 6. 1~17. 5.31	
工 学 研 究 科	教 授	上 館 民 夫	6744	15. 4. 1~17. 3.31	分館委員
農 学 研 究 科	教 授	川 端 潤	2496	15. 4. 1~17. 3.31	
獣 医 学 研 究 科	教 授	高 橋 芳 幸	5231	15. 3. 1~17. 2.28	分館委員
水 産 科 学 研 究 科	教 授	吉 水 守	8810	14. 5. 1~16. 4.30	
地 球 環 境 科 学 研 究 科	教 授	田 中 俊 逸	2219	14. 4. 1~16. 3.31	
国 際 広 報 メ デ ィ ア 研 究 科	助 教 授	橋 本 聡	5391	14. 4. 1~16. 3.31	
言 語 文 化 部	教 授	大 野 公 裕	5384	15. 4. 1~17. 3.31	分館委員
低 温 科 学 研 究 所	助 教 授	山 田 知 充	5485	15. 4. 1~16. 3.31	
電 子 科 学 研 究 所	教 授	下 村 政 嗣	2997	15. 4. 1~17. 3.31	
遺 伝 子 病 制 御 研 究 所	教 授	葛 卷 暹	5020	14. 4. 1~16. 3.31	
触 媒 化 学 研 究 セ ン タ ー	教 授	上 田 涉	2907	15. 4. 1~17. 3.31	
ス ラ ブ 研 究 セ ン タ ー	教 授	井 上 紘 一	3158	14. 4. 1~16. 3.31	
高 等 教 育 機 能 開 発 総 合 セ ン タ ー	教 授	西 森 敏 之	7517	14. 9.18~16. 9.17	分館委員
医 療 技 術 短 期 大 学 部	教 授	大 宮 司 信	3387	15. 4. 1~17. 3.31	

北分館委員会委員名簿

平成15年6月1日

区 分	職 名	氏 名	電 話	任 期	備 考
		分館長	大 平 具 彦	5358	15. 5. 1~17. 4.30
文 学 研 究 科	教 授	山 田 貞 三	3052	15. 4. 1~17. 3.31	第2号委員(文系)
経 済 学 研 究 科	教 授	吉 田 文 和	2782	15. 4. 1~16. 3.31	第2号委員(文系)
言 語 文 化 部	教 授	大 野 公 裕	5384	14. 4. 1~16. 3.31	第2号委員(文系)
工 学 研 究 科	教 授	上 館 民 夫	6744	15. 4. 1~17. 3.31	第2号委員(理系)
医 学 研 究 科	教 授	安 田 慶 秀	6040	15. 4. 1~16. 3.31	第2号委員(理系)
獣 医 学 研 究 科	教 授	高 橋 芳 幸	5261	15. 4. 1~16. 3.31	第2号委員(理系)
高 等 教 育 機 能 開 発 総 合 セ ン タ ー	教 授	西 森 敏 之	7517	14. 9.18~16. 9.17	第3号委員
経 済 学 研 究 科	教 授	小 野 浩	2962	14. 4. 1~16. 3.31	第3号委員
歯 学 研 究 科	教 授	川 浪 雅 光	5191	15. 4. 1~17. 3.31	第3号委員

人事往来

【平成15年4月1日付け異動】

〔転入・昇任・配置換〕

- 加 徳 健 三 附属図書館情報システム課長(旭川医科大学教務部図書課長)
- 田 中 正 彰 附属図書館情報管理課課長補佐(工学研究科・工学部総務課課長補佐)
- 杉 田 福 夫 附属図書館情報管理課図書館専門員(附属図書館情報管理課北分館情報管理掛長)
- 佐 藤 清 一 附属図書館情報サービス課課長補佐(附属図書館情報管理課図書館専門員)
- 東 重 俊 附属図書館情報サービス課図書館専門員(北海道教育大学附属図書館図書館専門員)
- 吉 竹 忍 附属図書館情報サービス課資料サービス掛長(附属図書館情報システム課目録情報掛長)
- 三 橋 修 附属図書館情報サービス課相互利用掛長(旭川医科大学教務部図書課情報管理係長)
- 小 川 聡 附属図書館情報システム課目録情報掛長(文学研究科・文学部図書掛長)
- 榮 森 吉 晴 附属図書館情報管理課北分館情報管理掛長(医学研究科・医学部図書閲覧掛長)
- 桑 野 勇 次 文学研究科・文学部図書掛長(低温科学研究所図書掛長)
- 山 田 勉 理学研究科・理学部図書掛長(附属図書館情報サービス課資料サービス掛長)
- 川 端 美 明 医学研究科・医学部図書閲覧掛長(理学研究科・理学部図書掛長)
- 紙 屋 国 男 薬学研究科・薬学部図書掛長(附属図書館情報サービス課相互利用掛長)
- 吉 田 恭 子 農学研究科・農学部図書閲覧掛長(小樽商科大学附属図書館運用係長)
- 小 峯 邦 夫 低温科学研究所図書掛長(農学研究科・農学部図書閲覧掛長)
- 長 野 美年子 学務部教務課全学教育支援室(電子科学研究所会計掛)
- 氏 家 千 春 附属図書館情報管理課庶務掛(北見工業大学附属図書館総務係)
- 小 林 真木子 附属図書館情報管理課図書受入掛(附属図書館情報サービス課参考調査掛)
- 高 野 直 樹 附属図書館情報管理課雑誌受入掛(農学研究科・農学部図書閲覧掛)
- 鈴 木 雅 子 附属図書館情報システム課システム管理掛(大阪大学サイバーメディアセンター電子図書館掛)
- 糸 林 真優子 理学研究科・理学部図書掛(附属図書館情報システム課システム管理掛)
- 平 野 知 医学研究科・医学部図書整理掛(理学研究科・理学部図書掛)
- 東 理 直 子 工学研究科・工学部総務課図書整理掛(文学研究科・文学部図書掛)
- 一 戸 佳 織 工学研究科・工学部総務課図書整理掛(獣医学研究科・獣医学部図書掛)
- 兎 玉 陽 子 工学研究科・工学部総務課図書閲覧掛(医学研究科・医学部図書整理掛)
- 南 美 江 工学研究科・工学部総務課図書閲覧掛(工学研究科・工学部総務課図書整理掛)
- 小 林 恵 子 工学研究科・工学部総務課図書閲覧掛(工学研究科・工学部材料化学系専攻図書室)
- 酒 卷 孝 子 工学研究科・工学部総務課図書閲覧掛(工学研究科・工学部材料化学系専攻図書室)
- 廣 中 恵 子 工学研究科・工学部総務課図書閲覧掛(工学研究科・工学部物理工学系専攻図書室)
- 江 畠 千江子 工学研究科・工学部総務課図書閲覧掛(工学研究科・工学部物理工学系専攻図書室)
- 小 西 玲 子 工学研究科・工学部総務課図書閲覧掛(工学研究科・工学部物理工学系専攻図書室)
- 永 山 裕 子 工学研究科・工学部総務課図書閲覧掛(工学研究科・工学部社会工学系専攻図書室)
- 越 前 怜 子 工学研究科・工学部総務課図書閲覧掛(工学研究科・工学部社会工学系専攻図書室)
- 岩 佐 征 子 工学研究科・工学部総務課図書閲覧掛(工学研究科・工学部社会工学系専攻図書室)

福井 みゆき 農学研究科・農学部図書整理掛(附属図書館情報管理課図書受入掛)
 藤井 真嗣 農学研究科・農学部図書閲覧掛(弘前大学附属図書館医学部分館資料情報係)
 石丸 恵 獣医学研究科・獣医学部図書掛(工学研究科・工学部総務課図書閲覧掛)
 猿橋 キヨミ 電子科学研究所(工学研究科・工学部総務課図書整理掛)

〔採用〕

綾田 陽子 附属図書館情報サービス課参考調査掛
 辻村 和美 文学研究科・文学部図書掛
 神谷 実 理学研究科・理学部図書掛
 紙谷 五月 工学研究科・工学部総務課図書閲覧掛

〔転出〕

諏訪田 義美 東北大学附属図書館情報管理課長(附属図書館情報システム課長)
 長手 禧和 室蘭工業大学地域連携推進室長(附属図書館情報管理課課長補佐)
 木浪 昇 北海道教育大学附属図書館図書館専門員(薬学研究科・薬学部図書掛長)
 佐々木 圭 小樽商科大学附属図書館参考係長(附属図書館情報管理課雑誌受入掛)
 坂崎 春子 弘前大学附属図書館情報サービス課参考調査掛(理学研究科・理学部図書掛)
 金田 志保 名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部図書掛(農学研究科・農学部図書整理掛)

【平成15年3月31日付け異動】

〔定年〕

宇野 弘純 附属図書館情報サービス課課長補佐
 山口 國雄 附属図書館情報サービス課図書館専門員
 伊藤 静子 工学研究科・工学部物理工学系専攻図書室
 伊佐田 宏子 工学研究科・工学部社会工学系専攻図書室
 三浦 温子 工学研究科・工学部情報エレクトロニクス系専攻図書室

【平成15年5月1日付け異動】

〔再任〕

井上 芳郎 附属図書館長(副学長、医学研究科教授)

〔併任〕

大平 具彦 附属図書館副館長・北分館長(言語文化部教授)

【平成15年5月31日付け異動】

〔辞職〕

長野 美年子 (学務部教務課全学教育支援室)

北海道大学附属図書館報「楡蔭」(ゆいん) 第116号 平成15年7月31日発行

〈編集〉 「楡蔭」編集委員会

〈発行〉 北海道大学附属図書館 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
 TEL : 011-706-2967 FAX : 011-747-2855
 ホームページ <http://www.lib.hokudai.ac.jp>

附属図書館本館・北分館・部局図書室の開館(室)時間

部 局 名	内 線	平 日	土曜日・日曜日・休日	備 考	
		開室時間	開室時間		
附属図書館	本 館	3956-7	9:00~22:00	9:30~17:00	休館日：12月27日から1月4日 学生休業期間中は、17:00で閉館です。 各室の閉室時間は問い合わせのこと
	北分館	5575	9:00~22:00	9:30~17:00	
文学研究科・文学部		3061	9:00~17:00	—	
教育学研究科・教育学部		3086	9:00~17:00	—	昼休みは、カウンターを閉じます。
経済学研究科・経済学部		3167	9:00~17:00	—	
理学研究科・理学部		3808	9:00~17:00	—	
医学研究科・医学部		5016	9:00~22:00 (24時間)	(24時間)	平日9:00~22:00以外は、自動入退館管理システムによる開館であり、利用対象者は、医学研究科・医学部の教職員、学生(3年生以上)及び医学部附属病院の教職員です。
歯学研究科・歯学部		4210	9:00~20:00	10:00~17:00 (土曜日のみ)	
薬学研究科・薬学部		3914	9:00~17:00 (24時間)	(24時間)	平日の9:00~17:00以外は、オートドアロックカード方式による開室であり、利用は薬学研究科・薬学部の教職員、学生(4年生以上)に限ります。
工学研究科・工学部		6136 6160	9:00~20:00	—	学生休業期間中は、17:00で閉室(夜間は閉室)です。
農学研究科・農学部		4122	9:00~20:00	—	学生休業期間中は、17:00で閉室(夜間は閉室)です。
獣医学研究科・獣医学部		5179	9:00~17:00 (17:00~21:00)	(9:00~21:00) (土曜日のみ)	平日の9:00~17:00以外は、鍵貸出し方式による開室であり、利用は獣医学研究科・獣医学部の教職員、学生に限ります。
水産科学研究科・水産学部		5513	9:00~18:00	—	学生休業期間中は、17:00で閉室です。
地球環境科学研究科		2208	9:00~17:00 (24時間)	(24時間)	平日の9:00~17:00以外は、磁気カードによる開室であり、利用は当研究科構成員に限ります。昼休みは、カウンターを閉じます。
学 務 部 (全学教育支援室人文辞書資料室)		5417	9:00~17:00	—	
低温科学研究所		5449	9:00~17:00 (24時間)	(24時間)	平日の9:00~17:00以外は、磁気カードによる開室であり、利用は当研究所構成員に限ります。昼休みは、カウンターを閉じます。
電子科学研究所		3363	9:00~17:00 (24時間)	(24時間)	平日の9:00~17:00以外は、カードロックシステムを採用。対象は、電子科学研究所の教職員、学生等に限ります。昼休みは、カウンターを閉じます。
遺伝子病制御研究所		5516	9:00~17:00	—	
触媒化学研究センター		2905	9:00~17:00	—	
スラブ研究センター		3310	9:00~17:00	—	昼休み(12:00~13:00)は、閉室です。
医療技術短期大学部		3319	9:00~17:00 (24時間)	(24時間)	昼休み(12:30~13:30)は、カウンターを閉じます。 平日の9:00~17:00以外は、オートドアロックカード方式による開室であり、利用は医療短期大学部の学生(平日17:00~19:00)、教官(24時間)に限ります。